

小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>音楽・器楽</p>	<p>委員長名 泉 田 誠</p>
<p>調査研究の経過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月6日(木)に、オンライン会議(Zoom)にて開催し、音楽小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月7日(金)から7月10日(水)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月11日(木)に、稚内総合文化センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、教育出版、教育芸術社の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
<p>調査研究に当たった際の配慮事項</p>	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
<p>少数意見その他</p>	<p></p>	

教科名		音楽				
1	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	教育出版	中学音楽1 音楽のおくりもの	017-72	教育芸術社	中学生の音楽1	027-72
		中学音楽2・3 上音楽のおくりもの	017-83		中学生の音楽2・3 上	027-83
		中学音楽2・3 下音楽のおくりもの	017-84		中学生の音楽2・3 下	027-84
		中学器楽 音楽のおくりもの	017-72		中学生の器楽	027-72
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	◆歌 唱					
	教育出版			教育芸術社		
	◆歌唱教材について(第1学年) (P10-P21)			◆歌唱教材について(第1学年) (P10-P15)		
	<p>①合唱教材は同声2部合唱となっており、変声期や小中接続に配慮された教材構成となっている。 (P10-P33)</p> <p>②合唱教材・変声教材の各々の関連性や指導の流れが、教材排列により明確に示されている。</p> <p>③取り扱う歌唱共通教材は 「夏の思い出」「赤とんぼ」</p> <p>④北海道関連教材として 「ソーラン節」「江差追分」が掲載。</p>			<p>①合唱教材は同声2部合唱となっており、変声期や小中接続に配慮された教材構成となっている。 (P30-P35)</p> <p>②混声3部合唱としてまとめて教材排列されており、知名度の高い合唱曲が掲載されている。</p> <p>③取り扱う歌唱共通教材は 「浜辺の歌」「赤とんぼ」</p> <p>④北海道関連教材として 「ソーラン節」「1/6 夢旅人 2002」が掲載。</p>		
◆歌唱教材について(第2・3学年上) (P10-P15)			◆歌唱教材について(第2・3上学年) (P10-P15)			
<p>①同じ長調であるが曲調が対照的な2曲の混声3部合唱が掲載されており、楽曲の雰囲気重視した、年度初めを意識した選曲がされている。</p> <p>②取り扱う歌唱共通教材は 「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」</p> <p>③「浜辺の歌」イメージ画像(P16)は、富士山を意識した美しい昼・夕の辻堂海岸の風景</p> <p>④「浜辺の歌」作詞作曲者の肖像画(P17)は大きく、人物の全体像が把握しやすいよう配慮されている。</p> <p>⑤北海道関連教材として 「時計台の鐘」「雪の降る街を」</p>			<p>①混声3部合唱が3曲掲載されており、それぞれ合唱となる楽譜部分には女声・男声の標記があり、楽譜の読み方に配慮されている。</p> <p>②取り扱う歌唱共通教材は 「夏の思い出」「赤とんぼ」 (※中学1年教科書を参照)</p> <p>③「浜辺の歌」のイメージ画像(P22)は、朝霧を意識した美しい朝・夕の辻堂海岸の風景</p> <p>④「浜辺の歌」作詞作曲者の肖像画(P22)は鮮明で、人物の特徴を詳細に把握しやすいよう配慮されている</p>			
◆歌唱教材について(第2・3学年下)			◆歌唱教材について(第2・3学年下)			
<p>①この教科書で取り扱う歌唱共通教材は 「花」「荒城の月」 (P10)</p> <p>②「花」イメージ画像は、隅田川の桜が印象的なものを使用し、地方の中学生がイメージしやすくなるよう配慮している。また、時代背景の説明が充実している。</p> <p>③作詞作曲者の肖像画(P18 他)は、大きく人物の全体像が把握しやすいよう配慮されている。</p>			<p>①この教科書で取り扱う歌唱共通教材は 「花」「花の街」「早春賦」 (P10)</p> <p>②「花」イメージ画像は、建物と自然との調和を意識した都会を流れる隅田川の実際の風景を使用し、首都圏に住む中学生に配慮している。</p> <p>③作詞作曲者の肖像画(P12 他)は、鮮明で人物の特徴が詳細に把握しやすいよう配慮されている。</p>			

	<p>(P20)</p> <p>④「帰れソレントへ」では、ピアノ伴奏譜が記載され、生徒が自主的に伴奏に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>⑤「帰れソレントへ」の作詞者が、G.デ・クルティスと標記。</p> <p>⑥イタリア語の読み方が記載され、原語での歌唱に配慮されている。</p> <p>(P22)</p> <p>⑦歌詞が英語の歌唱教材はカーペンターズ「Top of the world」</p> <p>⑧英語の歌詞が見やすく工夫されている。</p>	<p>(P24)</p> <p>④「帰れソレントへ」では、楽曲の背景を理解しやすくするため、ナポリ湾の画像が掲載されている。</p> <p>⑤「帰れソレントへ」の作詞者が、G.B.デ・クルティスと標記。</p> <p>⑥イタリア語表記フォントが大きく、原語歌唱に配慮されている。</p> <p>(P26)</p> <p>⑦歌詞が英語の歌唱教材はビートルズ「Hey Jude」</p> <p>⑧楽曲の背景や演奏風景が記載され、生徒の理解を促している</p>
	◆創作	
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	教育出版	教育芸術社
	<p>◆創作について(第1学年) (P38-P41)</p> <p>①創作領域のページがまとめて掲載されており、系統性を重視した題材構成となっている。</p> <p>②言葉や擬音の抑揚を音に重ね合わせ音楽をつくる手法を用いており、読譜が困難な生徒にも「もっと楽しもう」のメッセージの下、全ての生徒が楽しめるよう工夫されている。</p> <p>③生徒の自由な発想が多く反映される教材である。</p>	<p>◆創作について(第1学年) (P17) (P20) (P38)</p> <p>①創作領域のページが、生徒の音楽的成長に合わせて、3カ所に分けて配置されている。</p> <p>②創作に必要な知識・技能を、創作ツール (ICT) 活用により効果的に習得できるよう工夫されている。</p> <p>③創作ツール (ICT) 活用により完成度の高い作品ができるよう工夫されている。</p>
	<p>◆創作について(第2・3学年上) (P30-34)</p> <p>①創作領域のページがまとめて掲載されており、創作の系統性を重視した題材構成となっている。</p> <p>②リズムパターンと平調子(5音音階)を用いて学習範囲を限定することで学習目標が明確化され、生徒が学習成果を感じやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>◆創作について(第2・3学年上) (P30-P34)</p> <p>①創作領域のページがまとめて掲載されており、創作の系統性を重視した題材構成となっている。</p> <p>②5音音階や使用するリズムを限定することで学習目標が明確化され、生徒が学習成果を感じやすくなるよう工夫されている。</p>
	<p>◆創作について(第2・3学年下) (P30-P33)</p> <p>①言葉の抑揚の組み合わせからまとまったリズム出し、CMソングをつくる題材。 楽譜作成に関わって、覚えなくてはならない事項をできるだけ少なくし、楽譜作成に関わる生徒の負担感を減らそうとする工夫が見られる。</p> <p>②「CMソング」をつくる題材には、北海道特産物が例として取り上げており、学習に親しみがもてるよう工夫されている。</p>	<p>◆創作について(第2・3学年下) (P28-P31)</p> <p>①あらかじめ用意された8小節の和音に合うように、メロディやリズムを創作する題材。 教科書QRコードの創作ツール (ICT) を活用し、成果を確かめながら活動できるよう工夫されている。</p> <p>②使用するコードや音を限定することで学習目標が明確化され、生徒が学習成果を感じやすくなるよう工夫されている。 (第2・3学年上と比べ質的な向上が見られる)</p>

	<p>◆創作題材の系統性</p> <p>①創作領域は、中学校3年間の系統性を意識した題材排列となっている。</p> <p>②創作領域は、言葉からの音楽づくりで一貫している。</p>	<p>◆創作題材の系統性</p> <p>①創作領域は、中学校3年間の系統性を意識した題材排列となっている。</p> <p>②創作領域は、完成度や表現の広がり意識した教材が配置されている。</p>
	鑑 賞	
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	教育出版	教育芸術社
	<p>◆鑑賞について(第1学年) (P36)</p> <p>①北海道民謡に、アイヌ民謡が掲載されている。</p>	<p>◆鑑賞について(第1学年) (※中学2年教科書を参照)</p> <p>①北海道の郷土芸能に、アイヌ古式舞踊が掲載されている。</p>
	<p>-----</p> <p>◆鑑賞について(第2・3学年上) (P49-P51)</p> <p>①「越天楽を体験しよう」では、唱歌を用いた体験コーナーがあり、歌唱と鑑賞の一体的な指導が示されている。 (P54-P57)</p> <p>②「能」が掲載されており、日本の伝統文化を意識した題材排列となっている。 (P36-P39)</p> <p>③「小フーガト短調」は、フーガ形式の説明と演奏楽器(パイプオルガン)の仕組みについて図解で大きく示す等の工夫と焦点化がされており、4ページ扱いとなっている。 (P40-P43)</p> <p>④「交響曲第5番」は、動機リズム・楽曲構成(ソナタ形式)、演奏形態(オーケストラ)の説明を、4ページに分かりやすくまとめられている。</p> <p>⑤オーケストラの説明を「交響曲第5番」「ボレロ」の2題材で補完しながら行われている。</p>	<p>◆鑑賞について(第2・3学年上) (P54-P61)</p> <p>①長唄「勸進帳」と歌舞伎「勸進帳」の両方が掲載されており、歌唱と鑑賞の一体的な指導が示されている。 (P62-P67)</p> <p>②「文楽」「義太夫節」が掲載されており、日本の伝統文化を意識した題材排列となっている。 (P36-P37)</p> <p>③「小フーガト短調」は、フーガ形式の説明と演奏楽器(パイプオルガン)の仕組みについて焦点化されており、2ページにまとめられている。 (P38-P43) (P44-P45)</p> <p>④「交響曲第5番」は、第1楽章の動機リズムの現れ方を、楽譜を大きく使い分かりやすくまとめている。また、楽曲構成や曲想変化を深く追求することで音楽の味わい方を説明しており、6ページ扱いとなっている。</p> <p>⑤オーケストラの説明が、「交響曲第5番」とは別の独立した題材として行われている。</p>
	<p>-----</p> <p>◆鑑賞について(第2・3学年下) (P42-P47)</p> <p>①長唄「勸進帳」と歌舞伎「勸進帳」の両方が掲載されており、歌唱と鑑賞の一体的な指導が示されている。 (P48-P49)</p> <p>②「文楽」が掲載されており、日本の伝統文化を意識した題材排列となっている。 題目は「義経千本桜」である (P34-P36)</p> <p>③「交響詩 我が祖国」作曲者の肖像画(P36)は大きく、人物の全体像が把握しやすいよう配慮されている。</p>	<p>◆鑑賞について(第2・3学年下) (第2・3学年上 P54-P61)</p> <p>①長唄「勸進帳」と歌舞伎「勸進帳」の両方が掲載されており、歌唱と鑑賞の一体的な指導が示されている。 (中学2・3年上 P64-P65)</p> <p>②「文楽」の題目は「新版歌祭文」から野崎村の段である。 (P32-P34)</p> <p>③「交響詩 我が祖国」作曲者の肖像画(P32)はカラー画像を使用し、人物の特徴を詳細に把握しやすいよう配慮されている。</p>

④「交響詩 我が祖国」の楽譜が大きく取り上げられており、楽譜の特徴と情景イメージが重なり合うよう工夫されている。

(P54-P57)

⑤ポピュラー音楽の取扱は、アメリカを中心とした7ジャンルが大きな画像で紹介され、ビジュアルを重視した伝え方を工夫している。

(P58-P63)

⑥日本と西洋の音楽史の比較年表が見やすく工夫されている。

④「交響詩 我が祖国」では、楽曲が表現している場所を示す詳しい地図が掲載され、標題音楽の特徴を伝えようと工夫している。

(P58-P63)

⑤ポピュラー音楽の取扱は、クィーンの大きな画像から始まり、海外編・日本編に分けて詳しく紹介している。

(P62-P63)

⑥ポピュラー音楽日本編は、日本のポピュラー音楽を網羅する資料としての価値も高い。全ての音楽に正対するという編集者の姿勢が示されている。

◆器 楽

取扱内容、内容の構成・排列

教育出版

教育芸術社

◆器楽について

(P4)

- ①ストリートピアノの設置意義と、それが演奏されることで作り出される事象（協働性）が鮮やかな画像とともに説明されている。
- ②奏法の模範演奏QRコードが添付されており、生徒が自主練習をしやすいよう工夫されている。

◆器楽について

(P2-P3)

- ①巻頭頁には、北海道縁のアーティストへのインタビューが掲載され、音楽に対する熱い思いと、学びの方向性が示されている。
- ②模範奏法や伴奏音源のQRコードが添付しており、生徒が自主練習をしやすいよう工夫されている。

◆学習内容一覧「学習内容」

(P8-P9)

- ①学習内容のまとめページにより各領域（器楽・創作）の学習過程が分かりやすく示されている。
- ②各領域（器楽・創作）は、「思考力・判断力・表現力」の内容を上位目標として、教材と学習内容との関連が分かりやすく示されている。
- ③共通事項に示されている「音楽を形づくっている要素」の説明が分かりやすく記載されている。

◆取扱楽器・取扱ページ数の比較

①リコーダー	14 頁	⑤ 箏（こと）	8 頁
②篠笛	5 頁	⑥ 三味線	7 頁
③尺八	2 頁	⑦ 和太鼓	6 頁
④ギター	8 頁	⑧ 打楽器	1 頁

◆取扱楽器・取扱ページ数の比較

①リコーダー	16 頁	⑤ 箏（こと）	10 頁
②篠笛	2 頁	⑥ 三味線	6 頁
③尺八	2 頁	⑦ 和太鼓	6 頁
④ギター	8 頁	⑧ 打楽器	5 頁

◆打楽器

(P102)

- ①大きな写真を用て打楽器の紹介がされており、生徒が楽器の全体像を把握しやすいよう配慮されている。

◆打楽器

(P63-P67)

- ①様々な打楽器の奏法説明と練習用楽譜が掲載されており、生徒が自主的に練習できる工夫がされている。

<p>◆リコーダー (P8-P21)</p> <p>①リコーダーの基礎基本が、見やすく丁寧に説明されている。</p> <p>②ソプラノ・アルトリコーダーの指遣いの同一性を重視した楽譜（3曲） 「しりとり歌」(P11) 「喜びの歌」(P12) 「家路」(P13) ※独奏または、二重奏楽譜の掲載が多い。</p> <p>◆具体的な題材目標の記載(各ページ共通)</p> <p>①各楽器の技能習得や表現方法について、具体的な目標が大きく記載されており、学びの方向性が分かりやすく示されている。</p>	<p>◆リコーダー (P10-P25)</p> <p>①リコーダーの基礎基本が、練習曲を順にこなしていくと身につくよう工夫している。</p> <p>②ソプラノ・アルトリコーダーの指遣いの同一性を重視した楽譜（7曲） 「喜びの歌」(P14) 「かっこう」(P15) 「カノン」(P18) 「オーラリー」(P19) 「アニーローリー」(P20) 「虹の彼方に」(P21) 「きらきら星」(P23)</p> <p>◆具体的な題材目標の記載(各ページ共通)</p> <p>①各楽器の練習用楽譜には、目標が分かりやすく記載されており、生徒の自主的な活動がしやすいよう工夫されている。</p>
---	--

使用上の配慮等	
教育出版	教育芸術社
<p>◆各ページ共通</p> <p>①題材名が教材とともに大きく標記され、学習内容が明確化されている。</p> <p>②各教材の下に、観点別目標が記載されており、学習内容が具体的に示されている。</p> <p>③題材に関わる共通事項が明記されており、見通しをもった学習展開ができるよう工夫されている。</p> <p>◆音楽はメッセージ(P2)</p> <p>①目次ページ前（音楽科の教育課程に入る前）に、音楽を学ぶ楽しさや意義、音楽に関わる人々の思いについてのメッセージが書かれており、学びの方向性が示されている。</p> <p>◆学習内容一覧(P8)「学習マップ」</p> <p>①学習マップにより、各領域（歌唱・鑑賞・創作）毎の学習過程や題材目標が、教材と関連付けて分かりやすく示されている。</p> <p>②各領域（歌唱・鑑賞・創作）間の関連性が分かりやすく示されており、見通しをもった学習ができるよう工夫されている。</p> <p>③共通事項を軸とした「学習の進め方」記載により、学習内容がより分かりやすく示されている。</p> <p>◆教科書全般に関わって 北海道に関連のある画像等の掲載 「パイプオルガン」札幌コンサートホール</p>	<p>◆各ページ共通</p> <p>①題材名と音楽を形づくっている要素が一体的に標記され、学習内容が明確化されている。</p> <p>②教材名とともに、各領域（歌唱・鑑賞・創作）の上位目標としての位置づけである創意工夫を基とした、具体的な学習事例が記載されている。</p> <p>③学習目標が具体的に明記されており、指導と評価の一体化を図るための学習展開がしやすいよう工夫されている。</p> <p>◆音楽ってなんだろう(P2)</p> <p>①目次ページ前（音楽科の教育課程に入る前）に、「音楽ってなんだろう」のテーマの下、音楽に関わる人々の熱いメッセージが書かれており、学びの方向性が示されている。</p> <p>◆学習内容一覧(P8)「学習内容」</p> <p>①学習内容のまとめページにより、各領域（歌唱・創作・鑑賞）毎の学習過程が分かりやすく示されている。</p> <p>②各領域（歌唱・創作・鑑賞）は、「思考力・判断力・表現力」の内容を上位目標として、教材と学習内容との関連が分かりやすく示されている。</p> <p>③共通事項に示されている「音楽を形づくっている要素」の説明が分かりやすく記載されている。</p> <p>◆教科書全般に関わって 北海道に関連のある人物・楽曲名の掲載 「北島三郎」「サカナクション」「伊福部昭」</p>

	<p>「作詞者の歌碑」大雪クリスタルホール</p> <p>◆紙面・内容の工夫</p> <p>①全ての生徒が学習しやすいよう美しいビジュアルとユニバーサルデザインに配慮し、学習内容が分かりやすくなるよう紙面を工夫している。</p> <p>②QRコードから解説動画やワークシートにアクセスできるよう配慮されており、ICT端末（1人1台端末）を利用した個別学習にも対応している。</p> <p>③アイコンやマーク等で、学習の見通しや活動例を示したり、楽曲のよさや魅力についてまとめるコーナーを掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</p>	<p>「津軽海峡冬景色」</p> <p>◆紙面・内容」の工夫</p> <p>①文字の読みやすさを重視し、特別支援教育やユニバーサルデザインの視点を反映させた紙面を工夫している。</p> <p>②楽曲伴奏や音取り音源、ワークシートのQRコードが各題材に添付されており、ICT端末（1人1台端末）により自主的に活用できるよう配慮されている。</p> <p>③どのような曲なのかを簡単に示す楽曲紹介の紹介文を示したり、「問いかけに」による考えたいポイントを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</p>
その 他	◆その他	
	教育出版	教育芸術社
	<p>(P64)</p> <p>①音楽作成アプリ（ICT活用）の記載がある。</p> <p>(第2・3学年上 P64-P65)</p> <p>②音楽著作権について、実際の事例を参考にしながら分かりやすく説明している。</p> <p>③デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>(各学年共通)</p> <p>④「アクティブ」により、指導内容が明確化され、生徒が段階を追って「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」との関連を意識でできるよう配慮されている。</p> <p>(1年 P75 他)</p> <p>⑤SDGs 関連の楽曲にマークが記載されている。</p>	<p>(P91—P93)</p> <p>①振り返りページにより、学び方が明確に示されている。</p> <p>第1学年 (P66-P67)</p> <p>②音楽著作権について、それらが生み出される仕組みの説明を通して分かりやすく伝えている。</p> <p>③デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>(各学年共通)</p> <p>④「学びのコンパス」により、指導内容が明確化され、生徒が段階を追って「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」との関連を意識でできるよう配慮されている。</p> <p>(2・3年下 P66)</p> <p>⑤SDGs に関するの内容が、詳しく記載されている。</p>